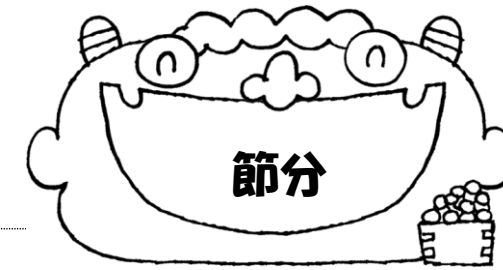


寒さが厳しい毎日ですが、子どもたちはひんやりとした空気を肌で感じながらも元気いっぱい体を動かし過ごしています。
 まだまだ寒い日が続きますので、体調の変化に十分注意しながら、園でも手洗いうがいを心掛け、元気に過ごしていきたいと思ひます。

～2月の様子～

室内での遊びが増え、少し遊び足りない様子が見られるようになりました。そこで、室内だからこそ楽しめることはないか…と考え、普段から遊んでいるカプラという玩具を応用して、「カプラ積みゲーム」をクラスで行いました。3チームに分かれて、制限時間内にどれだけ高く積み上げられるかというルールで行い、1番高く積み上げられたチームの勝ちというゲームです。簡単なルールではありますが、お友達との協力や丁寧さ、高く積むための工夫がとても大切になってきます。積み方は、どんな形でも良いというルールだったのですが、3チームとも違った積み方からスタートし、それぞれのチームの個性が表れるとても面白い戦いになりました。だんだんと高くなるタワーに、「めっちゃ、でっかくなってきたで！」と興奮する姿も見られ順調に積み上げていましたが、早く積みたいという気持ちの焦りから崩れるチームも出始めました。崩れてしまうと、初めは怒ったり、責め合ったりしていましたが、“どうしたら勝てるか” “高く積むためにはどうすればよいか” を一緒に考えることで2回戦目からは、チーム内で「〇〇ちゃん、次〇〇くん」と順番に積めるよう作戦を決めたり、崩れても「あ！少し残ったー！」と諦めずまた積み上げたり、最後まで協力し合うようになりました。また「〇〇チーム頑張れー！」と応援し合う姿も見られゲームを通して協力し合う大切さや、達成感を味わうことができたように思ひます。



豆まきが始まる前、自分たちで作ったお面を被りとても気合いが入っている様子でした。「鬼に豆を投げるんや！」「怖くない！」と鬼に立ち向かおうと強気な子どもたちでした。「鬼は外～福は内～」と園庭に向かって豆を投げていると、鬼の声が聞こえ一瞬で静まり返り、表情が一変していました。いざ鬼が現れると泣いたり、逃げたりする子もいましたが、保育教諭と一緒に豆を投げたり、励まされることで頑張っけて鬼に立ち向かったり一人ひとりの成長が感じられる豆まきでした。そして、ことも園での豆まきの次の日、「おうちにも鬼が来た！」「恵方巻を食べたよ！」と家での豆まきの様子を沢山話していました。

〇エピソード〇

異年齢での室内遊びの時に、Aちゃんが使って置いていた玩具をこあら組のお友達Bちゃんが知らずに使っていた時のことです。
 Aちゃん「あとで貸してあげるから貸して？」
 Bちゃん「…うん」
 それでも、遊びたかったBちゃんはなかなか渡してくれずどうしたらいいか考えていたAちゃん。しばらくすると、Bちゃんが返してくれました。
 Aちゃん「あとで貸してあげるからね。だからもう少し待って？」
 Bちゃん「わかった」
 その後その玩具で納得いくまで遊ぶと、Bちゃんに貸してあげることができ、その後一緒に遊ぶ姿が見られました。



Aちゃんは同い年のお友達だと、どうしても伝え方が強くなってしまふことが多いですが、自分より年下のお友達ということを理解し、優しい伝え方をしている成長を感じました。また異年齢活動を通してお手本になろうとする意識が表れていたように思ひます。そして、子ども同士の関わりによって、コミュニケーションの幅が広がり、もうすぐきりん組のお兄さん・お姉さんになるという期待や自覚が芽生えることにも繋がっていると感じました。



3月の予定

- 3日(木) ひな祭り
- 18日(金) 身体測定
- 25日(金) お誕生会
- 31日(木) 修了式

